

決算特別委員会

9月
7・9・10日
町民ホール

令和2年度の予算（一般会計、5特別会計、企業会計）がどのように使われ、どのような効果があったか審議するため、決算特別委員会が設置された。

委員長に沼澤道也委員、副委員長には中村忠行委員を互選し、コロナ過における財政運営全般について審議した。委員長を除く9名の委員が質疑を行った結果、全会計決算について全員賛成で認定された。



沼澤道也 決算特別委員長

令和2年度各会計決算提出議案

各会計決算状況 ～全員賛成で認定される～

議案番号	会計名	歳入決算額	歳出決算額
63号	一般会計	52億4967万円	49億2746万円
64号	国民健康保険特別会計（事業勘定）	7万円	7万円
	国民健康保険特別会計（直診勘定）	3億4238万円	3億2157万円
65号	介護保険特別会計	8億6873万円	8億2762万円
66号	後期高齢者医療特別会計	7042万円	6781万円
67号	農業集落排水事業特別会計	8909万円	7730万円
68号	公共下水道事業特別会計	1億6163万円	1億5084万円
69号	水道事業会計（収益的収支）	1億7882万円	1億8204万円
	水道事業会計（資本的収支）	0万円	8384万円

決算審査意見



丹 洋 一
代表監査委員

一般会計並びに6特別会計の歳入歳出決算書、事項別明細書、実質収支に関する調査は、法令に準拠して作成されており、決算計数は、関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

主な財政指標では、経常収支比率96・6%、実質公債比率10・3%、将来負担率41・7%となり、現在のところ問題はないものの、引き続き財源不足に留意が必要である。

財政運営基金は、前年度対比で微増となっているが、標準財政規模の5%以上を堅持し、今後の行財政運営に努めていただきたい。

鳥獣被害対策の推進を

大場 洋介 委員

問 猟友会に対する駆除経費補助の基準及び鳥獣被害対策としての金山川の支障木撤去を、産業課長補佐 駆除隊の報酬は金山町特別職の職員の給与に関する条例に依り、一回あたり1万円以内と規定されている。

答 河川については、県管理であり町での予算化は難しい。景観だけでなく有害鳥獣を入り込ませないという意味でも効果がある。総合支庁長との懇談会の中で改めて要望したい。その他の質問

- 林業振興費の不用額
- 猟友会に対する駆除経費補助の基準
- 感染症予防対策
- 総合防災訓練



金山川の支障木（魚清水付近）

持続可能性を考へての減額。健康福祉課長

今後も持続可能な制度として維持をしていくための変更。全体としてより公平な事業実施を目的としている。

その他の質問
● 公金収納対策
● 専門員登用による効果
● ホットハウス
● カム口泉質調査による今後の方向性

おむつ支給事業の減額は適正か

星川 智子 委員

問 同じ要件で昨年末では80000円が支給されていたが、今年度から40000円に減額になった。当町の介護支援が手厚いことが大きな支えになっており、在宅介護の支援を削るのが適正なのか。

答 健康推進主幹 国の支援の動向や事業の

- 消費生活相談の継続を
- 学童保育、放課後児童クラブ
- ふるさと納税JREモデル



課題となる在宅介護の充実

適正規模の公共施設のあり方は

中村 忠行 委員

問 現存する施設には、利用頻度や利便性、耐震性、維持管理経費、老朽化などの課題がある。管理計画は、

答 総合政策課長 事業見直しと合わせ、公共施設の在り方について見直しを進めている。

3年度下期にも再度公売を実施し、売却できなかった施設については、価格の見直しをする予定。

4年度は、農協裏にある多目的運動施設解体の調整を図っており、公売物件が売れなければ解体して土地売りする可能性もあると考える。

その他の質問
● 危機管理室の設置



多目的運動施設（農協裏）

公金滞納状況と対策は